

Catch the eye 2014年8月

2014/8/5
(火)

すぎる夏

こんなに晴れる予報だったかしら。大阪は朝から徐々に晴れ出して、厳しい暑さ。それでも、朝一番の空をみると、『少年時代:』の歌詞が口をついて出る。日の出の時間も遅くなってきた。明後日は立秋。

8月もう五日かと思う。ばたばたとしていて、連絡できずにいた方から、『月末ならいるだろうと思って』と先月31日の夕方に電話があった。91歳、いつも変わらず元気な声なのに、今回は弱弱しかった。

3ヶ月入院されたらしい。ベッドに長くいたから、足腰に力が入らず、体重もぐっと落ちた。それでも、少し快復したから電話をされたはず。こちらがあまり気遣ってもプライドを傷つける。

『もう少し涼しくなったら、またランチしましょう』と言って、電話を切りかけた。すると電話のむこうから、『どうぞ元気でいてくださいよ』。それはわたしの方がかける言葉、逆に言われるなんて。すぎる夏、とし月。

2014/8/8
(金)

2045年の世界



台風11号が接近しているはずだけど、大阪はよく晴れている。暑いのは暑い。でも少し暑さの質がかわってきた。蝉の合唱もボリュームが少なくなった。かわりに虫の声。今年はやはり夏がはやく過ぎる。

人の脳をまねた半導体?! IBMが10年かけて研究開発してきた技術を発表するらしい。人間が命令しなくても自ら問題解決する人工知能の出現。切手サイズのスーパーコンピューターができるとか。

さて、それはいつ頃か。インターネットの道すじで捉えると、前進の概念が1960年に発表され、アメリカで商用利用されたのが1988年、サーバーとブラウザができたのが1990年というから、約30年。

2014年から約30年後を2045年でとずれば、日本におけるインターネット元年1995年から50年後にあたる。50年の節目、たしかに新しい次元の世界に突入する頃。どんな世界になっているのか、想像を絶す。

2014/8/11
(月)ブレず、ズレず、
ヤメず

台風がさり、雲は多いながら晴れ。午前3時ごろ、ふと目がさめたら室内に月の光。淀川の花火大会は中止になり、高校野球の開会式も今日に延期。そんな週末だったが、今夜の満月は望めそう。

そんな9日の土曜、中止・延期にならなかったのがクレオ北館『プロ講師になろう塾advance—自分ならではの業で世に出る自業(じぎょう)塾』最終回。企画書をまとめ、外部からコメンテーターも招いた発表会でプレゼンに臨む受講者。せっかく準備してきて、延期になれば、気がぬけてしまう。雨風ともに激しくなった開始3時間前の催行判断。これが吉と出た。本番前から夜にかけて静まりかえった空模様。天の恵みか。

自分ならでは仕事で人のためになり自分のためになる生き方。ライフワークを探して見つけて育てていく人生。自他ともに納得のその人の有り様。総じて、ライフワークとライフスタイルをたどる道とでも言おうか、自業（じぎょう）は。その道をたどれば、おのずと自分に相応しい未来が待っている。とはいえ世は雑音だらけ、表面にひろがる主流が本質的には亜流ということも。今ふたたび、『ブレず、ズレず、ヤメず』を心に刻みましょう。

2014/8/14
(木)

ファイル

立秋以降、どうも不安定なお天気。今のところ薄日もさしているが、予報では来週にかけて曇りや雨。夏が急ぎ過ぎていく。今朝は虫の声のほうに耳に残った。

世の中はお盆休みモード、その間に練っておきたい案件。そのスイッチの足しにしよう、情報ファイルを整理。これまでのセミナーの際に講演シナリオをもとめたA3プロジェクトペーパーのファイル。仕事の情報源を保存しているファイル。自分の着想や気にとまった言葉などを書きとめたファイル。中身を綴り直ししながら、内容を辿ると適度な知的刺激になる。

何をファイルをして何をファイルしないか。人それぞれ異なる。それらファイル群に思考と志向が見える。

2014/8/16
(土)

超える

もう8月も後半、日がどんどん過ぎて、おそろしい。季節も足早にすぎているようで、8月に入ってから不安定な空模様。今日はお昼前から雨。けっこう強く降っている。降っては止み、やんでは降り。今夜は五山の送り火、無事に送られますように。

送り、送られ、世代交代し、世の中が変わっていくのだけど、生前に恩師が語った『人間は超えることができる』をまた、思い出すことがあった。住む世界は異なっても、同じように感じ考えている人がいる。世に認められた偉い人と市井のひとが同じような格言をもっている。

自然薯はの自然は“じねん”。「おのずからそうあること。本来そうであること。ひとりでの」と辞書に書いてある。じねん-ち（自然智）という言葉も一緒に紹介されている。いわく、「〔仏〕人為的努力によらず、自然に生ずる悟りの智慧」。

さまざまな経験とそこから何かを学ぼうとする意識、自分への観察。そこに外界への観察を照らすと、自ずと見えてくるものがある。内容は異なっても、自他ともに観察を続けていると、普遍的な何かを見出すことになる。人間が人間たる所以。

2014/8/20
(水)

処かわれど

8月も下旬、今日もまた厳しい残暑。でも空は秋の知らせ。なごりの蝉の声。あーあ、どこか遠くへ行きたい。



遠くといえば、1989年のこの時期に行っていたのはイギリスのカンタベリー。一ヶ月余りの遊学、ダーウィンカレッジの寮に入り、英語のレッスンを受ける。クラスにはフランスやイタリア、アフリカからやってきた人もいた。週末は自由行動、カンタベリー大聖堂を手始めに、ヘイスティングス、ロンドン、パリへの足をのぼし、見学してまわった。いろんな場所と出来事があった。なかなかユニークな経験をした。それらを今ほど記録していないのが悔やまれる。

記録しなくても今もはつきり蘇ることがある。ガトウィック空港に降り立ち、あたりを見回した時のこと。見慣れない人たち、英語だらけの風景にとり囲まれ、何か特別な感情がわくかと思いきや、ただいま自分はここにいるというだけの普通の心のあり様に、ちょっと拍子抜けするような感心するような。処が変わったところで、人は変わらないということ。

2014/8/22 手帳カバーとノート
(金) ト

今朝、蝉の声は聞こえなかった。明日は処暑、暑さやむ頃。気温は34度と高いままだけど、暑さはたしかに変わってきた。高校野球もはや終盤、8月も残りわずか。そろそろ来年の手帳レフィルもほしいところ。ひょっとしてコーナーができていないかと紀伊国屋書店をのぞいたが、未だだった。

手帳の中身はまだ手にできていないけど、手帳・ノートカバーは新しいものをゲットした、それも破格の値段で。時々在庫処分をする某店。アッシュフォードのいろんな製品が信じられない価格で売りに出る。これまでに大小6つほど手にいれた。

カバーを変えると、場合によってはノートのサイズも変えないといけない。今回がそう、思うものを見つけるのに一苦労した。昔から方眼のノートやルーズリーフを愛用、罫線は縦書の日記にのみに使う。縦横無尽に巡る思考に合わせ方眼、文章中心には縦罫。使い分けて攻奏す。

2014/8/27 自動撮影ボックス
(水)

処暑もすぎ、陽射しの強さは少し緩んできた。でも相変わらず蒸し暑い。今月も残り4日、不安定な天候続きで8月が終わろうとしている。暦の上では月曜から中秋に入った。9月8日は十五夜、そして白露。

証明写真が要って、今日撮った。近くにあるスタジオがなぜかシャッターが下りていて、仕方なく初めて自動撮影ボックスを使った。機械の改良はずいぶん進んでいるとは聞いていたが、出てきたプリントとみてビックリした。まるで雑誌に載るような仕上がり。

たしかボックスの入口には「コンシーラ仕上げ！」のシールが貼られたいた。それにしても、ここまで仕上げちゃっていいのか、20歳ぐらい若く見える。履歴書に使うわけではないから、自分的にはまんざらでもないけど、もし使うとしたら、ちょっと躊躇する。街の中でよく見なれたボックスがこういうものになっていたとは、小さな発見。